

2018年度事業報告案 (2018.10.17理事会承認)

2018/10/17

一般財団法人 エコロジカル・デモクラシー財団

**ECOLOGICAL
DEMOCRACY
FOUNDATION**



目次

- (1) 2018年度の振り返り p.2
- (2) 2018年度事業収支計画と実績 p.5
- (3) 各活動の詳細 p.7~

(1) 2018年度の振り返り 2018年度の事業枠組み

1. エコデモ観測・評価プロジェクト
2. エコデモ普及・定着プロジェクト
3. エコデモ啓発・宣伝プロジェクト
4. エコデモ個別プロジェクト



2つの大きな枠組みで
事業を整理



(1) 2018年度の振り返り

- 昨年2018年度は、現在の10事業を維持するが、エコデモを「広げる」「深める」という2つの大きな方向性を打ち出し、10事業の枠組みを整理・組み直すことを計画していた。
- 特に「エコデモシート」の活用、普及に関連する事業（①エコデモ観測、②エコデモ研究プロジェクト、⑤エコデモ認証事業）に注力するとし、新たなツールの開発や④コンサル事業への展開を試みた。

【参考】2018年度の事業別計画

事業	事業名	計画													
		2017				2018									
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1. 発見・観測	①エコデモ観測PJ 広げる	助成申請(トヨタ)	金沢八景(フォーラム)	世田谷(15件)	助成申請(地球環境基金)	北海道(フォーラム)		助成報告(世田谷)	助成申請(世田谷)	金沢能登		世田谷(15件)			
	②エコデモ研究PJ 深める	助成申請(M NTO)	・助成申請(科研A) ・研究論文①		研究論文②			助成報告(笹川)	助成申請(三菱)						
2. 普及・定着	③エコデモセミナーPJ 深める		第3期セミナー	セミナー集まり①		セミナー集まり②		セミナー集まり③	第4期セミナー	セミナー集まり①	セミナー集まり②	セミナー集まり③			
	④エコデモコンサル事業 広げる			世田谷		北海道				金沢能登					
	⑤エコデモ認証PJ 広げる			世田谷相互認証		北海道相互認証				金沢能登相互認証					
3. 啓発・宣伝	⑥エコデモ宣伝事業 広げる	Web更新	→												
	⑦エコデモ入門WS(名刺PJ) 広げる		事業再開計画立案	→	多摩川流域懇談会名刺作り	北海道名刺作り		金沢能登名刺作り							
	⑧エコデモ翻訳本出版 広げる		・宣伝(チラシ)		・宣伝(チラシ)	・宣伝(チラシ)			・買取り ・出版記念パーティ		販売			販売	
	⑨出版に向けた勉強会 深める		金沢八景(フォーラム)		勉強会①	北海道(フォーラム)						勉強会②		勉強会③	
	⑩エコデモ絵本PJ 広げる			事業計画立案						絵本製作					
4. 実走プロジェクト	世田谷/北海道連携/ARCH/SPOON			世田谷連携		・北海道連携 ・ARCH連携			ARCH SPOON 連携	SPOON連携					

次年度活動計画
<ul style="list-style-type: none"> ・50事例(世田谷で30事例、ほか金沢、北海道など全国各地で20事例)を収集する。 ・エコデモ事例集出版までの計画づくり
<ul style="list-style-type: none"> ・発見PJの50事例を対象として研究報告 ・研究論文を2本提出(金沢・能登関連、笹川助成)
<ul style="list-style-type: none"> ・第3期、第4期セミナーの実施。 ・各期の参加者10名を想定し、修了生16名を輩出、計6回の交流会を実施する。
<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモ発見の対象地(金沢、世田谷等)で、コンサル事業へ向けた種まきプロジェクトを2件実施
<ul style="list-style-type: none"> ・相互認証のフロー作成、交流会の実施、プラットフォームの整備、25事例の相互認証
<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブページの更新(1回以上/月) ・パンフレットの刷新(1000部)を行う。
<ul style="list-style-type: none"> ・世田谷、多摩川流域を中心に1000名分のエコデモ名刺作成を目指す。
<ul style="list-style-type: none"> ・翻訳本200冊の買取り ・出版記念パーティの実施。 ・出版関連の勉強会での販売、セミナーでの販売
<ul style="list-style-type: none"> ・エコデモ出版に合わせて小規模の勉強会・講演回を5回開催する。
<p>～2018/04 事業計画 ～2018/10 絵本製作(再来年度へ継続)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・各個別実走プロジェクトのスケジュールと合わせる

(1) 2018年度の振り返り

・ 2016-2018年までの振り返り（現在のエコデモ財団パンフより）

2016

設立準備・呼びかけ人のお祝い(4月)

エコデモ財団発足にあたり、多くの方に助言をお願いし、135名の方がエコロジカル・デモクラシーに賛同し、エコデモ財団の設立呼びかけ人になってくれた。



Ex 岡崎まち育てセンター・りた10thシンポジウム(9月)

講演タイトル:同時を始めよう！エコロジカルデモクラシー

Ex エコデモ勉強会:エコロジカル・デモクラシーを実践的に読む(9月)

講師:藤村龍至氏、奥野伸氏

Ex 江別市民活動見本市:川の流れると人のつながりー江別とまわりの町のエコロジカル・デモクラシー(10月)

江別市民活動見本市 2016

市民活動広域ネットワーク アクティブ・アクティブと協働

江別市にて「エコデモ名刺」づくりワークショップを開催

Ex エコデモ財団設立(10月)

2016年10月、135名の設立呼びかけ人とともにエコデモ財団は発足。10/30に設立記念パーティを行い、研究者、市長活動家、NPO、民間企業、学生等85名の方々に温かく見守られて活動を開始。

Ex ブランド戦略研究所・東京第九回フォーラム(11月)

講演タイトル:まちづくりの方法論ー生きた観光資源とエコロジカル・デモクラシー

Ex 都市問題 Vol.107 No.12(12月)

論考「社会と自然の結節点としての公園」というビジョンー東京五輪・パラ五輪を運ぶふたつの動き」と題して土肥真人ほか3名が執筆。

Ex エコデモセミナー第1期実施(8月-翌1月)

修了者23名/参加者23名

エコデモセミナー事務局は、様々なバックグラウンドを持つセミナー参加者が講師とともに「エコロジカル・デモクラシー」を読み、その内容を深く理解するのち、また参加者間で感想が共有できるウェブサイトを運用。2ヶ月に1度、交流会を開催し、受講生間の交流をサポート。

エコデモシート完成!!

左側に社会的なことを右側に生物や自然の物語を記録し、中央の欄にそれらのつながりが現れるランドスケープや風景を記録する。簡単なシート、このシートで、簡単に調理的に社会×ランドスケープ×自然の関係が発見できる。人と風景、人と自然、人と社会のつながりが、次の行動を教える。

2017

Ex エコデモ財団主催シンポジウム:エコロジカル・デモクラシーというデザインー世界をつなぐ15の原則(5月)

エコデモ財団主催の初めてのオープン企画。ランドルフ・T・ヘスター先生には、エコデモの15原則について、佐藤進先生からは、日本のまちづくりの文脈からのエコデモの発育の可能性と必要性の解説をいただいた。ディスカッションでは、特にエコデモの原則の一つの「繋ぎ」、住宅から地方までのスケールの移動、科学的な知識と土地に根ざすことについて議論。約170名の参加者がエコデモを知り考える素晴らしい場が形成された。

Ex 金沢国際シンポジウム「暮らしと自然と文化的景観」(8月)

金沢大学主催、国造大学UIKとエコデモ財団が主催したシンポジウム。金沢・経営の市民団体の活動の中に、自然と社会そして風景との係り結び(=エコデモ)を参加者と一緒に見出した。各発表を書き出し、その関係を見出すためのツール(エコデモ発見シート)は、本シンポジウムのプログラム考案する過程で誕生。

Ex エコデモセミナー第2期(2月-8月)

修了者8名/参加者16名

Ex 全国まちづくり会議フォーラム#13(10月)

都市計画協会主催の全国まちづくり会議2017in横浜において、「エコデモ×金沢シールドアウト」フォーラムを開催した。エコデモ発見を住民の方々と一緒にし、4つのエコデモの形態を明らかにした。暮らしの基盤となっている「場」に立地した土地から考える、人と自然のつながりと風景を議論した。

Ex 世田谷みどり33シンポジウム(2月)

世田谷みどり33協議会のシンポジウムで基調講演を行う。世田谷のみどり率33%を日指す、水とみどりの人33%を提案。

Ex セゾネ No.159(7月)

特集「自然と社会をつなげる回路ーエコロジカル・デモクラシーという考え方」としてインタビュー記事掲載してもらった。

Ex 消費税法ニュース#113(10月)

論考「消費者とエコロジカル・デモクラシー」と題して土肥真人が執筆。



2018

Ph. 出版 Ev. イベント Ar. 論考/記事 Tlc. ツールキット Sm. セミナー

Ex エコデモ観測プロジェクト in 世田谷(4月~翌3月)

「社団法人 街の木をもつづくりネットワーク」と「グリーンレポートせたがや」の2つの活動をエコデモの観点から観測し、自然と社会の係り結びを可視化した。

Ex 大岡山まちづくり協議会と東工大のあるまち大岡山のエコデモ発見(12月)

東工大のあるまち、大岡山のまちづくり協議会メンバー21名の方々とエコデモ発見ワークショップ、社会、自然、ランドスケープをそれぞれエコデモシートに記入し、そのグループで話しあった。配達する際、会場には軽やかな時間が流れ、グループでの話し合いは一瞬、静やかにかつつづの街のことや子ども達の遊び体験など、大岡山のエコデモを共有した。

Ex エコデモセミナー第3期実施(10月-翌4月)

修了者7名/参加者13名

Ex 渋谷のラジオ出演(1月)

パーソナリティ:水谷衣里氏。「エコロジ」とデモクラシーを統合的に考える」

Ex 世田谷みどり33シンポジウム(2月)

世田谷みどり33協議会のシンポジウム「街路樹と身近なグリーンインフラを考える」のパネルディスカッションに登場。

Ex エコロジカル・デモクラシーのデザインー生態的多様性とまちづくりをつなぐデザイン(4月)

「エコロジカル・デモクラシー」の出版を記念して、著者R.ヘスター先生をアメリカからお迎えし、出版記念イベントを開催。総勢110名の方々に参加いただき、これからの日本のエコロジカル・デモクラシーについて語り合う。日本での本格的なエコデモの普及と発展を確信する一日となった。

Ex BIOCITY#74 特集エコロジカル・デモクラシーのデザインー世界をつなぐ15の原則出版(4月)

日本のエコロジカル・デモクラシーを捉えることを試みた特集号。著者:R.ヘスター/土肥真人/佐藤進/藤村龍至/佐谷和江/山下三平/服部幸治/佐々木真/中野正典/丸谷耕太/坂村東/清水順郎/日井敬太郎/野村隆/所谷直、敬祐略。

BIOCITY

エコロジカル・デモクラシーのデザイン

Ex エコデモ未来図完成!!

「エコロジカル・デモクラシー」の本に基づいた、大岡山・洗足地区-2100年の計画図を作成した(大学の設計演習)。

ランドルフ・T・ヘスター 著、土肥真人訳
「エコロジカル・デモクラシーー生態的多様性とまちづくりをつなぐデザイン」が読者出版より出版。7月には量販決定!



Ex 「暮らしの中で和を楽しむ会柏葉会」にみるエコロジカル・デモクラシー(2月)

「暮らしの中で和を楽しむ会 柏葉会」の活動の中に現れている社会×自然×ランドスケープの係り結びを見出した。梅が咲き誇る場でお茶を楽しむ機会会だった。お茶の作法とエコデモが響き合い、日本のエコデモ像が見えた。

2100年 大岡山

洗足区ニキ

Ex エコロジカル・デモクラシーのデザイン出版記念イベント(4月)

エコロジカル・デモクラシーのデザイン

出版記念イベント

「エコロジカル・デモクラシー」の出版を記念して、著者R.ヘスター先生をアメリカからお迎えし、出版記念イベントを開催。総勢110名の方々に参加いただき、これからの日本のエコロジカル・デモクラシーについて語り合う。日本での本格的なエコデモの普及と発展を確信する一日となった。

Ex エコデモセミナー第4期実施(8月-翌2月)

参加者12名

Ex 福岡大学 景観まちづくり研究室 特別セミナー(7月)

講演タイトル:エコロジカル・デモクラシーとはなにかーまちづくりと生物多様性をつなぐデザイン。参加者50名。

Ex 九州産業大学・建築都市工学部オープンセミナー(7月)

講演タイトル:雨水がめぐる都市デザインーエコロジカル・デモクラシーの考え方。参加者350名。

Ex 国際シンポジウム「都市景観をグリーンインフラから考えるー金沢市における活用と協働ー」(8月)

エコデモシートを用いたエクスカージョンを実施し、パネラーとして土肥が参加。

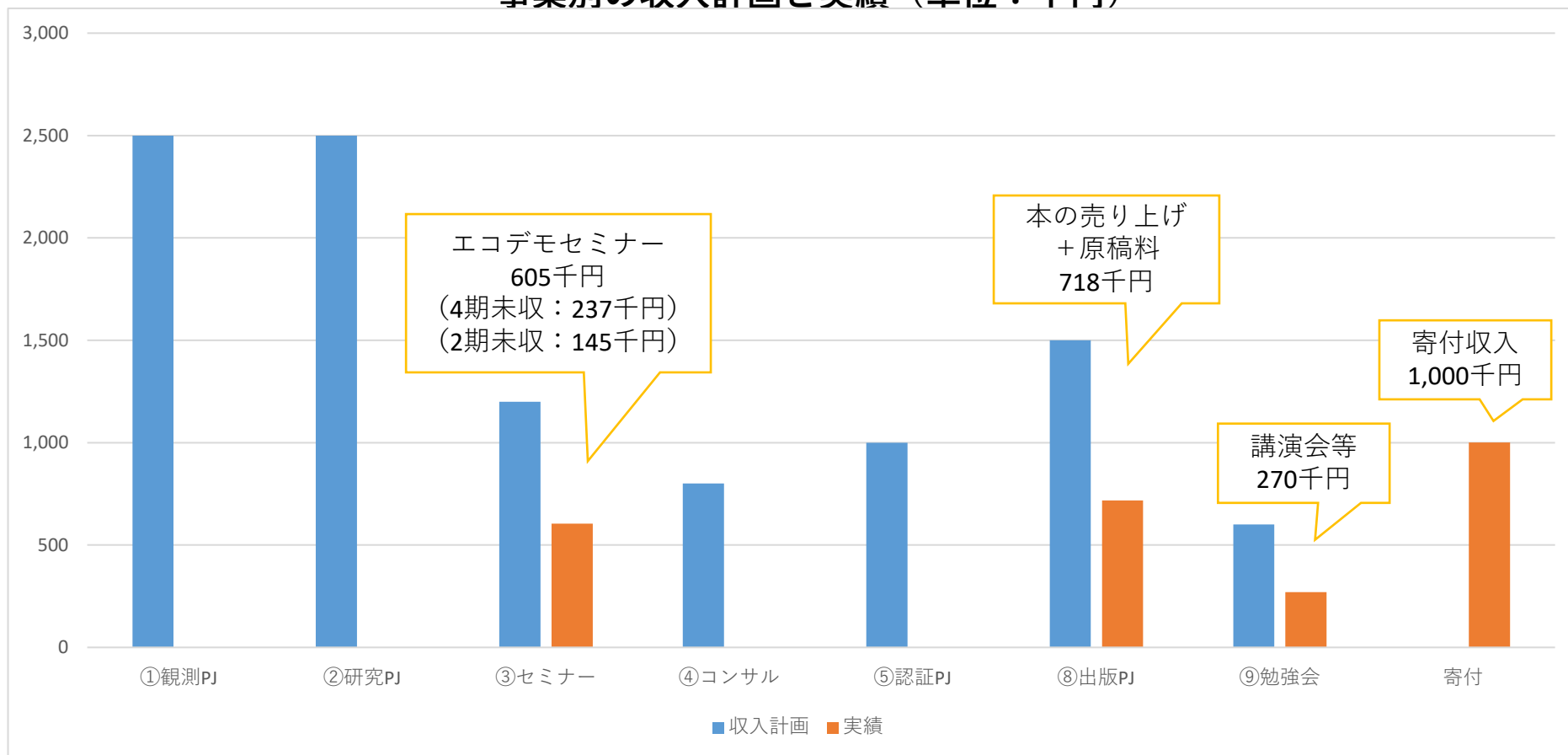
Ex 第14回まちづくりNEXTセミナー(9月)

講演タイトル:エコロジカル・デモクラシーのデザイン。参加者30名。

(2) 2018年度 事業別の収入計画と実績

- 助成金の収入を見込んでいた①観測PJ、②研究PJ、④コンサル、⑤認証プロジェクトについて、助成金の獲得実績が挙げられなかったことから計画目標を達成することが出来なかった。
- ③セミナー事業の収益、⑧出版PJの本の売り上げ・原稿料の収益が財団の運営を支えている。
- また個人からの寄付収入を得たことから、全体収入の底上げにつながった。

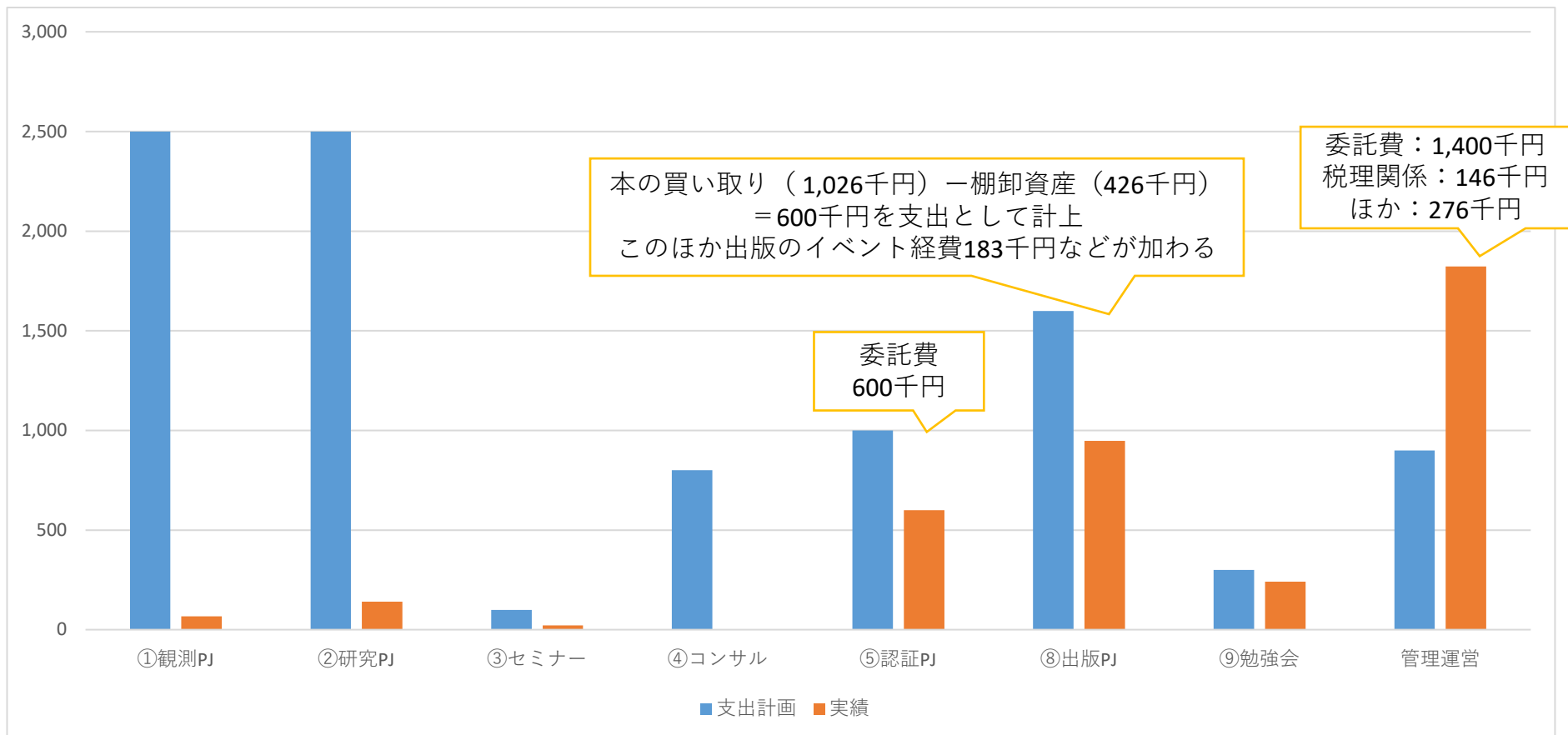
事業別の収入計画と実績（単位：千円）



(2) 2018年度 事業別の支出計画と実績

- 支出面に関しては、助成金を得て活動をする予定であった①観測PJ、②研究PJは、その獲得状況から支出は抑えられたが、一方、委託をしている⑤認証PJと、管理運営費の支出が際立つ形になった。

事業別の支出計画と実績（単位：千円）



①エコデモ観測PJ

事業概要

日本全国に存在するエコデモの事例を発見収集し、その成果をエコデモ事例集として発表する事業。
エコロジカル・デモクラシーの理解を事例とともに深め、本財団に共感する多くの新たな仲間と出会うことを目的。

2018年度方針

「エコデモ発見シート」を活用、普及させる（関連事業として、②エコデモ研究PJ、⑤エコデモ・認証事業があり、これらの事業においても積極的に用いる）。

2018年度計画

- 1)エコデモ発見シートを活用して、エコデモ発見のプロセス、記録、まとめの方法を明確化する。
- 2)50事例（世田谷で30事例、ほか金沢、北海道など全国各地で20事例）を収集する。
- 3)エコデモ事例集出版までの計画づくり
【事業費：2,500千円 助成収入：2,500千円】

活動実績と振り返り

- 1)エコデモシートが完成した（金沢・能登、金沢八景、大岡山、マチモノ）
- 2)事例集については「エコデモプライマー」での記載を計画中
- 2)世田谷50事例、全国20事例といった⑤エコデモ認証につながる部分ができていない。
- 3)エコデモ事例集の出版計画には至らなかった。

（青：計画通り出来たこと 赤：計画したができなかったこと 緑：派生的にできたこと）



図：エコデモ発見シート



写真：エコデモ発見シートを使ったエクスカージョン

来年度方針

【事業費：一千円 収入：一千円】

（関連事業としてA）エコデモ計画コンサル、B)エコデモCSV、C)エコデモ認証の各事業で、エコデモシートを積極的に用いる）。また⑩エコデモ絵本PJと合わせて子ども用のエコデモシートの開発を試みる。

（→振り返り）

⑤エコデモ認証につながる、エコデモ発見の量的な計画目標は達成できなかった。一方でエコデモ発見の方法やツールの開発はできた。今後、勉強会や講演会の機会を利用してエコデモシートを普及させる。
エコデモシートの講習会を開催するのも一つの方法。

②エコデモ研究プロジェクト（指標・評価方法確定事業）

事業概要

エコデモの活力、影響力、生み出す価値などを、わかりやすく理解するための、「エコデモ指標」を作成する事業。
多種多様な分野の活動を、エコロジカル・デモクラシーという観点から、束ねなおすことを目的とする。

2018年度方針

- ・研究プロジェクトを立ち上げ、積極的に推進したい。
- ⇒金沢・能登、金沢シーサイドタウンなど、エコデモ財団によるエコデモ発見（「エコデモ発見シート」を使用）の成果を、ケーススタディーとして学術論文にまとめる。
- ⇒理論研究（エコデモの範囲、作動メカニズム、政策化など）
- ・事業収入はなし（研究助成申請には役立つ）

2018年度計画

- 1)研究プロジェクトを立ち上げ、積極的に推進したい
- 2)理論研究（エコデモの範囲、作動メカニズム、政策化など）
【事業費：2,500千円 助成収入：2,500千円】

活動実績と振り返り

1,2)2018年12月のパシフィックリム論文として取りまとめ中
1,2)上記論文と結び付くエコデモ研究会を継続している。



各地で集めたエコデモ発見シート

来年度方針

【事業費：一千円 収入：一千円】

（エコデモシートを用いた指標・評価方法により、A) エコデモ計画コンサル、B)エコデモCSV、C)エコデモ認証、D) エコデモセミナーの各事業を評価する）

（⇒振り返り）
計画目標を達成することができた。今後、各事業の評価方法とエコデモ財団全体を評価する方法を考える

③エコデモセミナー事業

事業概要

様々なバックグラウンドを持つセミナー生が、講師・土肥真人と共にエコデモを読み、その内容を深く理解する事業。

エコデモを深く理解し、全国各地でエコデモの考え方・価値観を推進する仲間を育てていくことを目標とする。

2018年度方針

事業を継続、収益を目指す。
各期で10名の参加者を想定して実施する。

2018年度計画

- 1)第3期、第4期セミナーの実施。
- 2)各期の参加者10名を想定し、修了生16名を輩出、計6回の交流会を実施する。

【事業費：100千円 事業収入：1,200千円】

活動実績と振り返り

1,2) 第3期 (1710-1804) : 13名参加、7名修了。4/7はランディを交えての交流会を実施。

1,2) 第4期 (1808-1902) : 12名参加で実施中

他) 第1-4期の交流を促すウェブページの企画と準備を行った

他) 第4期からチューターの「エコデモ通信」を始めるなど新しい進め方ができた

○第2期セミナー修了生の声

柴田久さん (福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授)

「エコロジー」を中心に据えた、ランドスケープ・都市・デモクラシーを巡るデザイン論とその要点を具体的な実践例によって学べます。各章の感想とこれに対する講師土肥真人先生からのコメントは本書が持つ我が国への示唆、メッセージを深く考えさせてくれる、お薦めのセミナーです。

佐々木葉さん (早稲田大学創造理工学部社会環境工学科 教授)

本を読むという個人的行為がセミナーを通して協働となること。それによって得られた発見、広がり、深化は予想をはるかに上回るものでした。感想を提出することで自分の読み方が記録され、振り返ることができ、感想へのコメントが得られることでモノローグがダイアログに展開する。翻訳で読めるということのメリットもやはり極めて大きく、「エコデモ」のコンテンツの理解も進みましたし、それ以上に自分の思索のための貴重な機会となると思います。

ほか、9名の方々からセミナーへのPR文

来年度方針

- D)エコデモセミナー【学術】：D①エコデモセミナー
・エコデモセミナーの継続（4期（10-1月、12名）、5期（4-9月、15名））

【事業費：80千円 事業収入：975千円】

(→振り返り)

計画目標を達成することができた。今後、第1-4期の交流を促す仕組みをつくり、セミナー修了生間のコミュニケーションの機会を増やし、セミナー受講への間口を広げる

④エコデモコンサル事業（エコデモ・パイロット事業）

事業概要

地方自治体の多分野の政策・事業をエコデモの価値を最大にするという観点からコンサルタントし、再編成する事業。
基礎自治体の政策・事業に対して、エコデモの考え方を反映し、より良い行政運営に寄与することを目標とする。

2018年度方針

- ・コンサル事業は、①エコデモ発見事業と重なる可能性があるため、エコデモ発見の対象地（金沢、世田谷など）では、コンサル事業への種まきをしたい（2019年度に向けて）。
- ・同時にエコデモ発見シートの様なエコデモのコンサルに必要なツールと手順を整理、整備する。今年度は収益を目指さない。
- ・コンサル事業が本格化するタイミングで事務所の開設を検討。

2018年度計画

- 1) 観測PJの対象地でコンサル事業への種まき
- 2) エコデモのコンサルのキット化を進める
【事業費：800千円 事業収入：800千円】

活動実績と振り返り

- 1) 金沢、福岡市の2都市のシンポジウム、セミナーを通じてコンサル事業の事前調査を行った。
- 2) エコデモコンサル会議の実施。エコデモプライマー作成チームができた。

(青：計画通り出来たこと 赤：計画したができなかったこと 緑：派生的にできたこと)



国際シンポジウム「暮らしと自然と文化的景観」
基調講演：金沢・能登に観るエコロジカル・デモクラシー
2017年8月27日(日)
@金沢市文化ホール3階大会議室

全国まちづくり会議2017in横浜 フォーラム#13
金沢シーサイドタウンxエコロジカル・デモクラシー
2017年10月8日(日)
@横浜市立大学八景キャンパスYCUスクエアY201



来年度方針

A)エコデモ計画コンサル【行政】

A①エコデモプライマー
・エコデモプライマーの作成およびコンサルとの実務検証
A①【事業費：700千円 事業収入：750千円】

A②エコデモコンサル
・行政から2件のコンサル業務を受託し、まちのビジョンづくり
A②【事業費：5,720千円 事業収入：5,900千円】

(→振り返り)
計画目標を達成できた。今後は、力が分散しないように、コンサル事業を実施する場所を絞って進める

⑤エコデモ認証プロジェクト

事業概要

エコデモのグッドプラクティスを認証する事業。
エコデモ認証を通して、エコデモの考え方を実践する団体間の交流を促し、経験や価値を共有するプラットフォームを整備する。

2018年度方針

- ・ 認証事業を、本格化する（①エコデモ観測の展開として）。
...エコデモ認証とは、エコデモ財団が対象グループをエコデモ活動として認証し、同時に対象グループがエコデモの価値を認証してくれる相互認証のシステムとして構想する。
- ・ エコデモ認証グループ間の交流会をもつ。

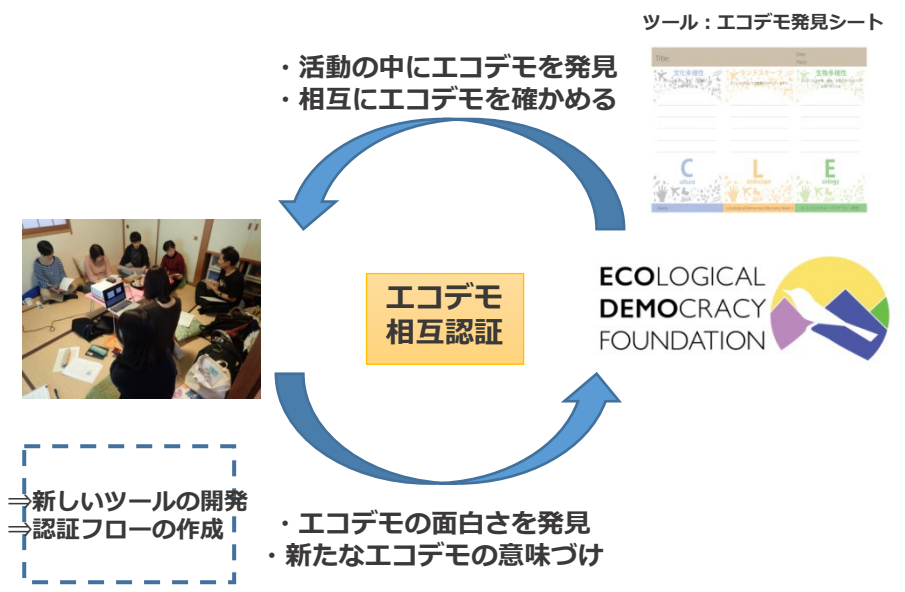
2018年度計画

- 1)エコデモ発見シートを利用しながら、各活動の価値×エコデモの価値を相互に認証すること
⇒認証フロー作成、交流会、プラットフォーム整備、25事例認証
【事業費：1,000千円 助成金収入：1,000千円】

活動実績と振り返り

- 1) 認証事業の本格化、交流会の実施に至らなかった。

(青：計画通り出来たこと 赤：計画しただけできなかったこと 緑：派生的にできたこと)



来年度方針

- c)エコデモ認証【市民】
 - c①エコデモ認証プロジェクト
 - ・ エコデモの相互認証システムの確立と普及
 - ・ 10の認証グループによる交流会の実施（1回）
 【事業費：1,700千円 助成金収入：1,700千円】

(→振り返り)
計画通りできなかったというよりも、実行に移していないことが問題。担当理事の設定や定期的なプロジェクトの報告会を行うことで、プロジェクトの進行を促す。大岡山からまずはじめてみる。

⑥エコデモ宣伝事業

事業概要

ウェブ媒体を用いて、エコロジカル・デモクラシーをより多くの人々に発信する事業。
より多くの人々がエコデモとの接点を持ち、この考えについて当たり前のように話し合える環境を創出していくことを目的とする。

2018年度方針

・事業の継続

2018年度計画

- 1) ウェブページの更新 (1回以上/月)
- 2) パンフレットの刷新 (1000部)
【事業費：200千円 事業収入：0千円】

活動実績と振り返り

- 1) HP、FBの更新を定期的に行った (1回/月程度)
- 2) 暫定版の新パンフを作成した。

エコロジカル デモクラシー 財団



「デモクラシーにとってエコロジーは未来の支持者である」 エコロジカル・デモクラシー財団

ビジョン
一人ひとりが、人間は自然の一部であることと人間だけが持つべき使命（自由、平等、平和）を誇りに思い、自然、生態系（エコロジー）を誇りに認めながら人々の暮らし（デモクラシー）を豊かにする世界を目指す。

ゴール
2020年までに、社会（企業、行政、市民団体、学校）と連携し、自然環境（エコロジー）と人々の暮らし（デモクラシー）の両方を向上させる。

ミッション
1. エコロジーの重要性を広く普及させ、社会全体で自然環境を大切にする文化を醸成する。
2. エコロジーと人々の暮らし（デモクラシー）の両方を向上させるための実践的な活動を推進する。
3. エコロジーと人々の暮らし（デモクラシー）の両方を向上させるための実践的な活動を推進する。

活動の方向性
1. エコロジーの重要性を広く普及させるための活動（セミナー、ワークショップ、イベント等）を推進する。
2. エコロジーと人々の暮らし（デモクラシー）の両方を向上させるための実践的な活動を推進する。

2016
2017
2018

来年度方針

【事業費：一千円 収入：一千円】

(A) エコデモ計画コンサル、B)エコデモCSV、C)エコデモ認証、D) エコデモセミナーの各事業に関して定期的な広報と報告を行う)

(→振り返り)
計画目標通りできた。今後は、HP、FBやパンフレットのひな型を見直し、イベント等の実施報告をしやすくし、頻度を増やすこと。また直近のイベントのお知らせ、進行中プロジェクトの紹介を行い、呼びかけ人等への働きかけを強化する

⑦エコデモカード・プロジェクト (エコデモ入門WS)

事業概要

水の循環や市民憲章を学び、「エコデモカード」の作成と交換・交流を通じて、自然のつながりにいる一人、社会を支える一人であることを認識し、その意識やライフスタイルを変えるきっかけとする。
エコデモカードの普及、カードを用いたワークショップを実施。

2018年度方針

・事業は一時停止 (2017/07/25)。

2018年度計画

・事業は一時停止 (2017/07/25)。
権利関係を整理した上で事業計画を見直すこと。

活動実績と振り返り

(・事業の再検討のためプロジェクトを一時停止した。)

これまでデザインしてきたエコデモカード (69デザイン)



来年度方針

【事業費：一千円 収入：一千円】
・プロジェクトの一時停止

⑧Design for Ecological Democracy翻訳本出版事業

事業概要

エコデモ啓発・宣伝プロジェクトの一環として展開する書籍出版事業を展開している。現在、書籍出版事業の第一弾、『Design for Ecological democracy』(Randolph.T.Hester 2006)の、邦訳(土肥真人訳)の出版と販促を目的とする。

2018年度方針

エコデモの日本版の出版記念会を開催する(5月)
その他、200冊の買い取りの約束なので、その販売計画(⑨エコデモ勉強会・講演会事業)立案の要あり

2018年度計画

- 1) エコデモ翻訳本、BIOCITYの出版
- 2) エコデモの日本版の出版記念パーティを開催する(4月)
- 3) 出版記念パーティや勉強会での販売、セミナー教材としての販売を行う。
【事業費：1,600千円 事業収入：1,500千円】

活動実績と振り返り

- 1) エコデモ翻訳本、BIOCITYを出版できた(2018.4)。また7月には重版500部も決定した。
- 2) 出版記念パーティを開催した(2018.4.7開催、参加者110名)。
- 3) エコデモセミナー4期の教材として用い、各種イベント等で販売することができた
※エコデモ：92冊販売、献本42冊 ※BIOCITY：47冊販売、献本19冊

(青：計画通り出来たこと 赤：計画したができなかったこと 緑：派生的にできたこと)



「エコロジカル・デモクラシー：まちづくりと生態的多様性をつなぐデザイン」(鹿島出版会、2018.04)



「BIOCITY #74 特集エコロジカル・デモクラシーのデザイン」(ブックエンド、2018.04)

来年度方針

- D)エコデモセミナー【学術】
- D②エコデモ出版事業
・1-2冊(雑誌BIOCITY #74の論考集、日本版エコデモ)のエコデモ関連書籍の出版
【事業費：416千円 事業収入：504千円】

(→振り返り)
計画目標を達成することが出来た。またエコデモ本、BIOCITYの販売は好調。増刷予定のないBIOCITYは、本として出版を企画。すでにBIOCITYを購入している人にも再び買ってもらえるように編集。日本版のエコデモも構想する。

⑨エコデモ勉強会・講演会

事業概要

「エコロジカル・デモクラシーのデザイン」の出版に合わせ、読者の方々に公開で、各界をリードする方々とエコデモについて議論し、その価値の広がり学ぶ事業。

2018年度方針

・事業を継続

2018年度計画

1) エコデモ出版に合わせて小中規模の勉強会・講演会を5回開催する。

【事業費：300千円 事業収入：600千円】

活動実績と振り返り

1) 東京（1月,9月2回）、北海道（3月1回）、世田谷（2月1回）、福岡（7月2回）、金沢（8月1回）において6回の講演を行った。
他) 早稲田大学（佐々木研究室）にて出張エコデモ勉強会を行った（5月、6月の2回）



九州産業大学・建築都市工学部オープンセミナー「雨水がめぐる都市デザインーエコロジカル・デモクラシーの考え方」（参加者350名）

来年度方針

D)エコデモセミナー【学術】

D③エコデモシンポ

・エコデモ財団シンポジウム（年1回、3周年記念の交流会として開催）

【事業費：500千円 事業収入：600千円】

（→振り返り）

呼びかけ人やセミナー修了生等から講演依頼を受けることで、計画目標以上の勉強会・講演会を実施することができた。今後、呼びかけ人・セミナー修了生にアプローチする

⑩エコデモ絵本プロジェクト

事業概要

事業内容：エコデモを紹介する絵本を作成するPJ。

活動位置付け：エコデモ啓発。

目標：次世代を担う子供たちにエコデモを分かりやすく理解してもらう。

2018年度方針

- ・事業を継続

2018年度計画

- 1) 事業計画（～2018/04）
- 2) 絵本製作（～2018/10再来年度へ継続）
【事業費：一千円 事業収入：一千円】

活動実績と振り返り

1,2) 事業計画、絵本の作成には至らなかった。

来年度方針

【事業費：一千円 収入：一千円】

- ・プロジェクトは一時停止
- ・停止しながらも、子どもたちへの働きかけ（子供向けのエコデモシート等、副読本の企画等）をしていく。